ラヴィ・ド・ボエーム（1992）

LA VIE DE BOHEME

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 フィンランド
色彩 Color
時間 103分
初公開日 1992/07/18
公開情報 シネセゾン

【キャッチコピー】
親しき友と愛しき人と、やるせなき巴里、うたかたの夢。

【解説】
フランスの作家Ｈ・ミュルジェールの原作『ボヘミアン生活の情景』は、あの有名なプッチーニのオペラ“ラ・ボエーム”と同じもの。カウリスマキは“原作を台無しにしたプッチーニへの復讐をこめて”本作を撮ったのだと言う。ボヘミアン生活はパリにしかない、という表現に魅かれて……。ロドルフォ（Ｍ・ペロンパー）はアルバニアからやってきた画家。家賃不払いでアパルトマンを追い出された作家マルセルとレストランで意気投合。彼にその部屋に連れていかれると既に次の住人、音楽家ショナールが居すわっており、かくして三人の共同生活が始まる。マルセルは新聞王をだまし雑誌の刊行を企てる。ロドルフォは資産家のパトロン（Ｊ＝Ｐ・レオ）を見つけ、また、隣室で眠っていた美女ミミに恋をするが、不法滞在が発覚し強制送還された。なんとかパリに戻ると、金持ちの男と一緒のミミにやり直しを誓うが、あまりの貧乏暮らしに彼女をはじめ、男たちの恋人は皆くたびれたり愛想を尽かしたりして去っていく……。時は経ち、相変わらず侘びしく暮らす三人のもとにミミは帰ってくるが、彼女は不治の病を抱えていた。古き良きフランス映画の情感を溢れさせた、思いきりセンチな恋物語。サルミネンのカメラ・ワークが素晴らしく、シャンソンの使い方など心得たもので、エンディングに流れるのはなんと高英男の歌う“雪の降る町を”。’９２年のベルリン映画祭で国際批評家賞を受けた、カウリスマキ１５年来の企画の映画化である。

【クレジット】

監督	アキ・カウリスマキ	Aki Kaurismaki	
製作	アキ・カウリスマキ	Aki Kaurismaki	
原作	アンリ・ミュルジェール	Henri Murger	
脚本	アキ・カウリスマキ	Aki Kaurismaki	
撮影	ティモ・サルミネン	Timo Salminen	
音楽	ダミア		
	セルジュ・レジアニ	Serge Reggiani	
出演	マッティ・ペロンパー	Matti Pellonpaa	ロドルフォ
	アンドレ・ウィルム	Andre Wilms	マルセル
	カリ・ヴァーナネン	Kavi Vaananen	ショナール
	イヴリーヌ・ディディ	Evelyne Didi	ミミ
	ジャン＝ピエール・レオ	Jean-Pierre Leaud	ブランシュロン
	サミュエル・フラー	Samuel Fuller	ガソット
	ルイ・マル	Louis Malle	

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.